

ふれあい ステージ

名演技に拍手喝采

11月20日町民会館において、今年で4回目となる介護劇「ご存知水戸黄門はいかい記」が上演されました。今回は皆さんにお馴染みの「水戸黄門」ですが、30年後のちょっと認知症にかっ



たご老様のお話。貧しいながらも、日々楽しく暮らしている家族。代官と米問屋の悪巧みで苦しむ家族を救おうと黄

門様一行が大活躍。代官と米問屋を懲らしめる名場面。ところが、大切な「印籠」をどこかに置き忘れる始末。仲間の助けで無事に印籠と威厳を取り戻し、代官たちを見事成敗。上演後、脚本・演出を担当した渡辺さんから「いずれ皆さんも同じように老いが進むが、胸を張って生きていきましょう」と力強い挨拶で締めくくり、300人を超える観客の拍手喝采で幕を閉じました。

美しい音色にうっとり

12月3日、郷土館において札幌を中心に年齢層を問わず幅広く活動する3人のユニット「キッコリーズ」のコンサート（主催：もせうし郷土館で音楽を楽しむ会）が開かれました。妹背牛での演奏は約3年ぶり。のこぎり



をしなせ、弓で弾く独特の演奏スタイルから奏でられる優しく温かい音色。バイオリンやギター之音と相まって、美しいサウンドを響かせます。集まった約50名の観客はその音色にすっかり魅了された様子でした。会場では美味しいパンや、コーヒーの販売もあり、アットホームなコンサートとなりました。

一足早い年越しそば

12月10日、わかち愛もせうし広場において、「お楽しみお食事会」が開催されました。65歳以上の一人暮らしの方を対象に一足早い年越しそばが振舞われました。社会福祉協議会柳会長より「いつもは一人での食事が多いと思うが、今日はみんなで楽しく和気藹々と過ごしてほしい」と挨拶。その後、温かい天ぷらそばとおにぎりが運ばれ、お食事会がスタート。会場に集まった約55名のお年寄り



方に喜んでいただけると何より嬉しい」とお蕎麦作りに励んでいました。

おさらい会がんばるぞ！

12月4日、保育所のおさらい会が行われました。わが子の成長、孫のかわいい姿を見ようと大勢の観客が詰めかけました。年長・年中・年少とクラスごとでこの日のために歌やお遊戯、縄跳びに跳び箱など一生懸命に練習してきました。可愛らしい衣装を身に着

け踊る姿に目を細め、元気いっぱい



の歌には惜しみない拍手が送られました。また、跳び箱や鉄棒などの運動には「頑張っ

3ヶ月間ありがとうございました

ペペルの温泉効果を調査するため、9月に行われた温泉モニターの事前測定から3ヶ月が経過しました。11月26日に入浴や飲泉を行ってきた、モニターの数値測定が行われました。前回同様、検温、血圧測定、唾液検査、皮膚の水分検査などを行いました。温泉教授の松田忠徳さんも来町され、3ヶ月間入浴や飲泉をしてきたモニターの感想などを興味深く聴き取りました。モニターの事前、事後の数値が計測され、この結果をもとに温泉がもたらす効果を探っていきます。3ヶ月の間、ご協力を頂いた50名の温泉モニターの皆様にお礼申し上げます。3月に町民の皆さんへ結果報告が予定されており、その効果に期待が寄せられているところです。



絵本大好き！



12月10日町民会館において、0歳児から参加できる絵本の読み聞かせが行われました。参加したのは4組の親子、読み手には牛田地域教育推進専門員、郷土クラブの子どもたち、町民会館勤務の佐々木和夫さんです。絵本のお話が始まると、絵本を見つめ、読み手のお話をじっと聞く子どもたち。飽きてくずることなくみんな最後まで、お行儀よくお話を聞くことができました。お話が終ると上手に拍手もできました。休憩後は布絵本の読み聞かせもあり、紙の絵本とは違う感触に興味津々。その後は、みんなで元気よく遊びました。

妹背牛を知ろう！

自分たちの住む妹背牛の郷土文化を学び、継承していこうと、12月13日妹背牛小学校で「郷土妹背牛祭」が行われました。今回はJA青年部による1,2年生を対象にした「食育教室」、日頃練習に励んでいる金管バンドの演奏が発表されました。3~6年生は各学年ごとの題材を採求した発表活動。6年生を対象にしたしめ飾り体験では、社会福祉協議会の方々がサポートし、個性の光る素敵なしめ飾りが完成しました。

また、1,2年生のもちつき体験ではJA青年部や保護者の方々がサポート。青年部

の方々と一緒に、きな粉餅と磯部餅を満面の笑顔で味わっていました。

